

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 8月17日  
10時14分04秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0010020000	計画調整室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00693	千里ニュータウン情報館運営事業			
章	06	安全で魅力的なまちづくり			
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり			
細節	11	総合的な都市整備の推進/地域の特性を生かしたまちづくりの推進			
予算事業	10181	01	02	01 30 01 01 01	千里ニュータウン情報館運営事業（千里ニュータウンプラザ費）
所属長	曾谷 博之		担当者（内線）堺 翔太（内線2670）		
根拠法令等	吹田市立千里ニュータウン情報館条例				
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	なし		
改正内容	なし				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市民、学生、全国のニュータウン研究者		
目標	全国初の大規模ニュータウンとして開発された千里ニュータウンに関して蓄積されてきた記録、研究、文化活動の成果を集約、情報発信することで、まちづくり研究やまちづくりに関わる多様な主体の交流の拠点とする。		
結果	千里ニュータウンに関する研究を進めるとともに、まちづくりに関する多様な主体が相互に交流、連携することにより千里ニュータウンのまちづくりの推進に寄与する。		
事業概要	千里ニュータウンに関する資料を収集、整理し、展示などの情報発信をすることにより、千里ニュータウンの住民はもとより、まちづくりに関わる多様な主体の相互交流、連携を図る。		
実施方法	■ 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	SABI
		委託先②	株式会社東急コミュニティー
		委託先③	
	主な委託内容		秋季企画展展示企画運営業務、警備業務
	□ 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	776	675	2,002	1,928	1,964
人件費職員数(人)	0.50	0.50	1.30	1.30	1.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	10,468	10,170	10,329
総事業費(A+B)	4,861	4,625	12,470	12,098	12,293
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,861	4,625	12,470	12,098	12,293
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,861	4,625	12,470	12,098	12,293
財源計(C+D)	4,861	4,625	12,470	12,098	12,293

所属	計画調整室
事務事業番号	00693

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	千里ニュータウンに関する資料を中心に、その魅力を内外に発信、これからのまちづくりを考えるきっかけとなる展示を行う。	人	目標値	8,300.00	8,300.00	8,300.00
			実績値	7,226.00	8,658.00	
			達成度(%)	87.10	104.30	
目標値の積算方法	千里ニュータウン情報館入館者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.64	1.40	
			一般財源(千円)	0.64	1.40	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	千里ニュータウンのまちづくりに関心を持ち、千里ニュータウン情報館を拠点として活動する人材を育成	人	目標値	0.00	10.00	10.00
			実績値	0.00	10.00	
			達成度(%)	0.00	100.00	
目標値の積算方法	千里ニュータウン情報館の企画展示等に協働参画する市民や大学、研究者等の数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	1,209.80	
			一般財源(千円)	0.00	1,209.80	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>事業費は適切である。</p> <p>千里ニュータウン情報館は、日本で最初に開発された大規模ニュータウンである千里ニュータウンの資料の展示や書籍の閲覧などができ、まちづくりを研究する場として活用されており、他市や大学・研究機関、海外等からの視察もある。入館者数は前年と比して増加している。</p> <p>今後の方向性としては、展示資料の整理・充実や魅力ある企画展示を実施し、引き続き入館者数の増加につながる取組を推進する。さらに、市民がこの場を活用し、情報交換するなど、まちづくりに関して多様な主体が連携できるよう、支援を行う。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	千里ニュータウン情報館運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00693				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組みなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	10	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	76	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	計画調整室	事務事業番号	00693
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>企画展示については、平成25年度から毎年実施し、定期的に取り組むことができている。平成28年度までの企画展示においては、展示協力者の特定化の傾向があったが、平成29年度は新たな団体に委託し、今までとは違う新しい企画展示に向けた取り組みを実施した。今後も、新たな人材の発掘や養成に取り組むほか、大学などにも範囲を広げ、多様な主体が展示や情報発信の主役として機能することができるよう、取り組みを強化する必要がある。</p> <p>常設展示については、更なるニュータウンの資料収集に取り組み、適宜、展示の模様替えなどを行うとともに、今後の展示のあり方を含めた展示の見直しについて、検討を進めて行く必要がある。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 4日  
11時50分04秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0010020000	計画調整室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00695	千里ニュータウンまちづくり広域連携事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	11	総合的な都市整備の推進/地域の特性を生かしたまちづくりの推進		
予算事業	10706	01	08	05
		01	06	01
		01	01	
所屬長	曾谷 博之 担当(内線)栗本 綾香(2670)			
根拠法令等	吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡協議会則、千里ニュータウン再生連絡協議会規約			
事業開始年度	平成14年度	直近の改正	平成29年度	
改正内容	委員の役職名変更			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

## <事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	市民(主に千里ニュータウンの住民)・千里ニュータウンで活動する団体等・事業者等			
目標	千里ニュータウンの再生に向けて、行政区域を越えて情報交換や行政間の調整等を図り、市民と連携した事業を展開する等、よりよいまちづくりを目指す。			
結果	千里ニュータウンの課題を抽出することにより、再生の工夫ができる。			
事業概要	千里ニュータウンのまちづくりについて、関係機関との連携を推進するとともに市民主導型の広域的交流事業を支援する。			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
			主な委託内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡協議会	
交付先②		千里ニュータウン再生連絡協議会		
交付先③				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	265	182	1,535	1,449	250
人件費職員数(人)	0.50	0.90	1.50	1.50	1.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	7,110	12,078	12,078	11,918
総事業費(A+B)	4,350	7,292	13,613	13,527	12,168
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,350	7,292	13,613	13,527	12,168
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,350	7,292	13,613	13,527	12,168
財源計(C+D)	4,350	7,292	13,613	13,527	12,168

所属	計画調整室
事務事業番号	00695

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	連絡会議等の開催、まちづくりイベントの共同開催、まちづくり団体の活動支援	回	目標値	28.00	32.00	32.00
			実績値	32.00	34.00	
			達成度(%)	114.30	106.30	
目標値の積算方法	会議、イベント開催回数及びまちづくりに取り組む市民団体の会議参加回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	227.88	397.85	
			一般財源(千円)	227.88	397.85	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	活動支援を行う市民団体が開催する千里ニュータウンのまちづくりに関するイベント、会議等参加人数	人	目標値	420.00	650.00	500.00
			実績値	635.00	700.00	
			達成度(%)	151.20	107.70	
目標値の積算方法	まちづくり市民フォーラムや千里キャンドルロード実行部会等参加人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	11.48	19.32	
			一般財源(千円)	11.48	19.32	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>事業費は適切である。</p> <p>指標数値の推移を踏まえると、事業成果の目標を順調に達成している。</p> <p>今後も引き続き吹田市と豊中市等が共同して市民に働きかける企画やイベントを実施することにより、まちづくりの担い手を育て、市民主体で千里ニュータウンの再生を推進する必要がある。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	千里ニュータウンまちづくり広域連携事業	事業区分	その他
事務事業番号	00695				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

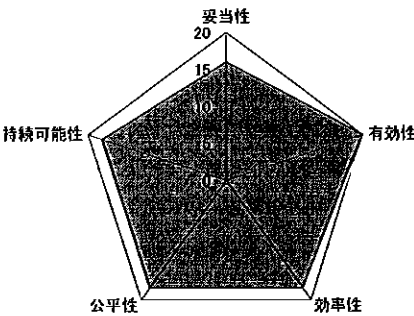
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	計画調整室	事務事業番号	00695
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>千里ニュータウンの再生にかかる課題解決のために、他団体と連携して取り組んでいる。豊中市とは、両市の市民を中心に、毎年まちづくりを考える市民フォーラムを開催し、市民意識を高める取組を10年以上にわたって継続してきた結果、新たな活動の担い手が出てきている。加えて、千里ニュータウンまちびらき50年事業を契機に実施された「千里キャンドルロード」を毎年実施するために、市民が主体的に取り組む活動が生まれ、さらに千里ニュータウンのにぎわいづくりに貢献する活動につながっている。</p> <p>千里ニュータウン再生連絡協議会を構成する5者(大阪府、豊中市、独立行政法人都市再生機構(UR)、大阪府住宅供給公社、一般財団法人大阪府タウン管理財団)とは、千里ニュータウンの再生を進めていく方向性を示した「千里ニュータウン再生指針2018」を策定した。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--



# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 1日  
17時59分43秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0010020000	計画調整室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00697	近隣センター活性化再生支援事業		
章	06	安全で魅力的なまちづくり		
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり		
細節	13	総合的な都市整備の推進/都市機能の向上と市街地の整備		
予算事業	10709	01	08	05 01 08 01 01 近隣センター活性化再生支援事業（都市計画総務費）
所属長	曾谷 博之	担当者（内線）山本 耕平（2653）		
根拠法令等	千里ニュータウン再生指針、千里ニュータウン近隣センターのあり方について（案）			
事業開始年度	平成25年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	千里ニュータウンの近隣センター（藤白台及び高野台サブセンターは除く。）		
目標	衰退している近隣センターが、地域ニーズに沿った商業施設やコミュニティ施設等を集積した総合的な生活支援拠点となるように、活性化・再生に向けた誘導を図る。		
結果	近隣センターの活性化、再生によるにぎわいの創出。		
事業概要	近隣センターの活性化・再生を目指して、地権者等の合意形成に向けた協議会等の立ち上げを促すとともに事業計画の策定や事業化検討パートナー選定等を支援する。また、オープンスペース等の移管に向けて庁内調整を行い、近隣センターが身近で総合的な生活支援拠点となるよう誘導を図る。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
■ その他	内容	近隣センターアドバイザー派遣要領に基づき、アドバイザーの派遣を行う。	

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	110	0	88	0	8,556
人件費職員数(人)	0.50	0.00	1.00	1.00	1.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	0	8,052	8,052	9,534
総事業費(A+B)	4,195	0	8,140	8,052	18,090
特定財源(C)	0	0	0	0	1,900
国	0	0	0	0	1,900
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,195	0	8,140	8,052	16,190
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,195	0	8,140	8,052	16,190
財源計(C+D)	4,195	0	8,140	8,052	18,090

所属	計画調整室
事務事業番号	00697

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地権者等の合意形成に向けた意識向上や協議会等の立上げを支援する。	回	目標値	10.00	8.00	6.00
			実績値	6.00	6.00	
			達成度(%)	60.00	75.00	
目標値の積算方法	会議等の回数(アドバイザー派遣含む)。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	1,342.00	
			一般財源(千円)	0.00	1,342.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
近隣センターの活性化・再生に向けた事業の推進。	研究会等が開催され、合意形成に向けた意識向上が図られた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 中期的には、目標とする効果の発現に期待が出来るため。)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の評価や指標数値の評価を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	近隣センター活性化再生支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00697				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

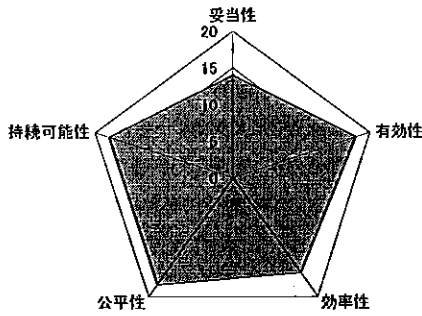
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	計画調整室	事務事業番号	00697
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>近隣センターは、住区に暮らす住民の身近な商業拠点としての役割を果たしてきましたが、居住者のライフスタイルの多様化や社会状況の大きな変化などにより、商業環境は大きく変化し、店舗の閉店や老朽化が進んでいます。このような状況の中、行政が地権者等を支援することで、合意形成に向けた協議会等の立ち上げを促す等により、近隣センターが身近で総合的な生活支援拠点となるよう誘導が図られています。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 1日  
15時34分24秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0010020000	計画調整室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	00700	北千里駅周辺活性化支援事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	11	総合的な都市整備の推進/地域の特性を生かしたまちづくりの推進							
予算事業	11431	01	08	05	04	04	01	01	北千里駅周辺活性化支援事業（都市計画調査費）
所属長	曾谷 博之			担当者（内線）	天野 優子（2669）				
根拠法令等	都市計画法、道路法、建築基準法								
事業開始年度	平成26年度	直近の改正	平成27年						
改正内容	建築基準法の一部改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	千里北地区センター		
目標	北千里駅周辺活性化ビジョンの具体化		
結果	にぎわいのある地区拠点の形成		
事業概要	北千里駅周辺（千里北地区センター）における社会情勢の変化などによる商業機能の課題や、多様な住民ニーズに対応した公共施設整備等の課題を解消し、千里北地区センターが成熟社会にふさわしい地域拠点となるよう、その役割・機能を見直し再整備の基本的な方向性をとりまとめることを目的として、平成28年4月に市民はじめ、学識経験者や事業者などの多様な主体の意見を反映した「北千里駅周辺活性化ビジョン」を策定した。本ビジョンの策定後は、地権者をはじめとする関係者等との協議、情報交換を行い、円滑な合意形成を目指すとともに、勉強会や民間誘導の実施など、本ビジョンを踏まえた千里北地区センター再整備に向けた取り組みを支援する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	98	9	81	48	14,192
人件費職員数(人)	1.50	1.90	2.00	2.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	15,010	16,104	16,104	15,890
総事業費(A+B)	12,353	15,019	16,185	16,152	30,082
特定財源(C)	0	0	0	0	1,417
国	0	0	0	0	1,417
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	12,353	15,019	16,185	16,152	28,665
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,353	15,019	16,185	16,152	28,665
財源計(C+D)	12,353	15,019	16,185	16,152	30,082

所属	計画調整室
事務事業番号	00700

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	・関係者会議を3回開催 ・関係者ヒアリングの実施	目標	「北千里駅周辺活性化ビジョン」に基づき、千里北地区センター再整備の基本的な方向性を示す。
成果内容	「北千里駅周辺活性化ビジョン」を民間の誘導や支援に活用する。	達成状況	関係者が参加する情報共有や意見交換の場を開催した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 権利者等の意向把握にあたる必要があるため)</p> <p>【今後の方向性】 千里北地区センターを取り巻く社会情勢の変化や、地区センターの大半の土地を所有する一般財団法人大阪府タウン管理財団の所有地処分方針等に対し、北千里駅周辺活性化ビジョンを活用することで、これまで地区センターが担ってきた役割を継承するとともに、更なる活性化をめざしたまちづくりを行っていくために、必要不可欠なものである。</p>

## 事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事業名	北千里駅周辺活性化支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00700				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(6点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	計画調整室	事務事業番号	00700
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年4月に「北千里駅周辺活性化ビジョン」を策定し、計画通り進めることができた。  千里北地区センター用地の大半を所有する一般財団法人大阪府タウン管理財団の所有地処分の方針に対し、策定した本ビジョンを当該用地の売却条件に盛り込むこと、また、本ビジョンを活用した民間誘導を図ること、地区センターの活性化に向けた検討体制、マネジメント体制を構築すること等が今後の課題である。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--



## 事務事業評価調書

事務事業名	都市計画マスタープラン事業				
担当部名	都市計画部	室課名	計画調整室	室課長名	曾谷 博之

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成28年度	改正内容	都市再生特別措置法・地域内に使える既存ストックがある場合にはそれを残しつつ、地域の身の丈にあった規模の市街地整備を可能とする手法の創設											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	都市再生特別措置法 都市計画法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明		立地適正化計画は都市再生特別措置法第81条に基づき市が定めるものであるが、その策定方法											
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	13							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他								
		範囲等	吹田市全域												
		目標(どのような状態にしたいのか)	吹田市都市計画マスタープランの一部である吹田市立地適正化計画に基づき、超高齢社会に対応し、健康寿命の延伸や、子育て環境の充実といった良好なまちづくりをめざす。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	都市機能増進に資する施設の適正な立地をし、持続可能なまちづくりの実現													
(7)	事業概要	立地適正化計画は、都市再生特別措置法第81条に基づき、住宅及び都市機能増進施設の立地の適正化を図るためのものであり、都市計画マスタープランの一部で、高度化版とみなされる。平成28年度は、都市機能誘導区域のみを定めた吹田市立地適正化計画の策定を行い、平成29年度は、居住誘導区域及び評価指標を追加する等の改定を行った。													
(8)	H29事業別予算コード	会計	01	款	08	項	05	目	04	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)							
				予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		13,463	13,144	8,910	8,910	1,158							
		人件費	職員数	人	1.50	1.50	2.00	2.00	1.50						
			総額(B)	千円	12,256	11,850	16,104	16,104	11,918						
		総事業費(A+B)		25,719	24,994	25,014	25,014	13,074							
		特定財源(C)		6,731	2,600	1,782	2,448	0							
		(内訳)	国	6,731	2,600	1,782	2,448	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
市負担(D)		6,732	10,544	7,128	6,462	13,074									
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0									
	その他	0	0	0	0	0									
	一般財源	6,732	10,544	7,128	6,462	13,074									
財源計(C+D)		13,463	13,144	8,910	8,910	13,074									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施		委託先	①	パシフィックコンサルタンツ(株)									
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託			②										
				主な委託内容	③										
					調査・計画策定										
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		交付先	①												
			②												
			③												
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容	持続的なまちづくりをめざす吹田市立地適正化計画の改定を行うため、庁内検討委員会等の開催を行った。		目標	平成29年度中に居住誘導区域及び成果指標を設定した吹田市立地適正化計画の改定を行う。		
	②	成果内容	吹田市立地適正化計画の改定を行った。		達成状況	改定に伴い意見募集や説明会を実施し、都市計画審議会の意見を聴いたうえで平成29年度中に改定・公表を行った。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:中期的には、目標とする効果の発現に期待が出来るため。)</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果が出ていないが事業費は妥当であるため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。</p>					

## 事務事業分析シート

所属名	計画調整室	事務事業番号	01679	事業名	都市計画マスタープラン事業	事業区分	内部管理
-----	-------	--------	-------	-----	---------------	------	------

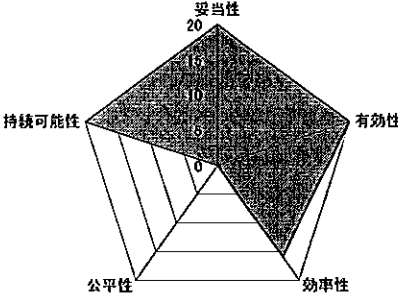
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】	※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	計画調整室	事務事業番号	01679
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	□ 主要な政策課題としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>都市計画マスタープラン事業は、『吹田市都市計画マスタープラン』の理念を実現するための事業であり、地域の特性を生かしたまちづくりを推進し、より一層魅力ある都市空間の実現を目指すものである。平成28年度においては、超高齢社会に対応し、健康寿命の延伸や、子育て環境の充実といった良好なまちづくりを推進していくために、都市機能増進に資する施設の適正な立地を誘導していくことを目的として都市計画マスタープランの高度化版となる『吹田市立地適正化計画』を策定した。また、平成28年度においては、居住誘導区域及び評価指標の設定等を行い同計画の改定作業を行った。今後、この計画に基づき、事業を推進するとともに、計画の進行管理を行っていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

# 事務事業評価（確認書）

1頁  
平成30年 6月 1日  
16時33分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0010020000	計画調整室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

## <基本事項>

事務事業番号	01783	都市機能検討事業							
章	06	安全で魅力的なまちづくり							
節	02	暮らしや都市活動を支える基盤づくり							
細節	13	総合的な都市整備の推進/都市機能の向上と市街地の整備							
予算事業	11890	01	08	05	04	03	02	01	都市機能検討事業（都市計画調査費）
所属長	曾谷 博之				担当者（内線）山本 耕平（2653）				
根拠法令等	なし								
事業開始年度	平成29年度	直近の改正		なし					
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

## <事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	吹田市全域		
目標	本格的な超高齢社会・人口減少の到来が見通される中、集約型都市構造を今後も維持することにより持続可能な都市・地域を形成する。		
結果	まちづくりについて具体的に検討し、持続可能な都市・地域の形成に向けたまちづくりに取り組む。		
事業概要	<p>JR吹田駅北側まちづくり方針（案）策定業務については、片山エリアにおける、最近の土地利用動向を踏まえ、更なる魅力の向上や潤いのある市街地環境の形成を図るため、方針（案）としてまとめます。</p> <p>北千里駅周辺まちづくり検討業務においては、千里北地区センター、北千里小学校跡地及び国立循環器病研究センターの北千里駅周辺の3エリアについて、更なる魅力の向上や潤いのある市街地環境形成を図るため、土地利用について調査検討を行い、今後のまちづくり方針（案）をまとめます。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株)アーバンパイオニア設計
		委託先②	(株)ジャス
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	調査・計画策定
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

## <事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	11,295	7,938	6,399
人件費職員数(人)	0.00	0.00	1.50	1.50	2.40
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	0	0	12,078	12,078	19,068
総事業費(A+B)	0	0	23,373	20,016	25,467
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	23,373	20,016	25,467
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	23,373	20,016	25,467
財源計(C+D)	0	0	23,373	20,016	25,467

所属	計画調整室
事務事業番号	01783

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	まちづくり方針(案)策定やまちづくり検討にあたり庁内検討会議等を開催した。	目標	平成29年度中に、JR吹田駅北側まちづくり方針(案)の策定及び北千里駅周辺土地利用方針(案)の作成
成果内容	JR吹田駅北側まちづくり方針(案)作成及び北千里駅周辺土地利用方針(案)の作成	達成状況	JR吹田駅北側まちづくり方針(案)の作成及び北千里駅周辺土地利用方針(案)の作成

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:中期的には、目標とする効果の発現に期待が出来るため。)</p> <p>【今後の方向性】 目標とする効果は出ていないが事業費は妥当であるため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。</p>

事務事業分析シート

2018/6/59.51

所属名	計画調整室	事業名	都市機能検討事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01783				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

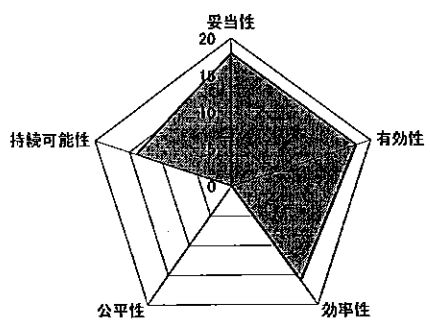
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	計画調整室	事務事業番号	01783
-----	-------	--------	-------

## 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

## 3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>都市機能検討事業は、『吹田市都市計画マスタープラン』及び『立地適正化計画』を実現するための事業であり、地域の特性や実情に即したまちづくりの方向性を明確にするものである。平成29年度においては、2地区について検討を行ったが、今後、この検討結果に基づき、事業化の推進を図る等、まちづくりの具現化に向けた方針等を打ち出す必要がある。</p>		

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--